

[花き部門 令和8年度 参考となる研究成果]

事 項 名	キク、トルコギキョウの補完品目としてのスターチス・シヌアータの特性		
ね ら い	本県の花き主要品目であるキク及びトルコギキョウは生産コストが増加し、経営を圧迫している。そのため、主要品目を栽培しながらも作付・管理が可能で、収入が期待される補完品目としてスターチス・シヌアータを選定し、その特性を明らかにしたので参考に供する。		
内 容	<p>1 スターチス・シヌアータの生産特性</p> <p>(1) ビニールハウスに4月中旬定植することで、6月下旬から10月下旬までの期間、1株当たり30～50本程度、採花できる(表1)。</p> <p>(2) 切り花は長さが60～80cm、開花側枝は4本程度であり、1株当たり採花本数が少ないほど品質は良い傾向で、品種間差が大きい(表2)。</p> <p>2 スターチス・シヌアータの試算販売額</p> <p>1a当たりの採花本数は1～2万本、可販花数は7千～1万本、販売額は36～67万円と試算される(表3)。</p> <p>3 主要品目との労力競合</p> <p>(1) 7～10月採花のキクと4月中旬定植のスターチス・シヌアータは、適した面積比率での作付けが求められる(図1)。</p> <p>(2) 7～10月採花のトルコギキョウと4月中旬定植のスターチス・シヌアータは、適した面積比率での作付けが求められる(図2)。</p> <p>(3) スターチス・シヌアータの採花適期は長いため、キクあるいはトルコギキョウとの収穫時期の調整が可能である。</p> <p>4 市場・生花店におけるスターチス・シヌアータの動向</p> <p>(1) 県内及び東京都中央卸売市場においては、取扱数量及び平均単価とも伸びており、安定した品目であると考えられる(表4)。</p> <p>(2) 県内生花店からの聞き取りでは、県内産切り花の出荷が求められている(表5)。</p>		
期待される効果	<p>1 主要品目であるキク、トルコギキョウを補完し、所得の増加が期待される。</p> <p>2 作付品目の複数化により農業経営の安定性が強化される。</p>		
利 用 上 の 注 意 事 項	<p>1 実際の販売額は、気象条件、スターチス・シヌアータの作柄、市場流通量等の違いにより、変動する。</p> <p>2 スターチス・シヌアータの生産性は品種間差があるため、夏秋期向けで安定性の高い品種を選ぶ。</p> <p>3 本試験は4月中旬定植の作型で実施したものであり、定植時期の移動により時期別の採花本数や労力競合状況が変わることもあり得る。</p>		
問 合 せ 先 (電話番号)	農林総合研究所 花き・園芸部 (0172-52-4341)	対象地域 及び経営体	県内全域のキク、トルコギキョウ等の作付経営体
発表文献等	令和6年度 農林総合研究所試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 採花期及び月別採花本数

(令和 6 年 青森農総研)

品 種	定植 (月日)	採花始 (月日)	採花終 ^注 (月日)	定植～採 花始(日)	株当たり採花本数 (本/株)					
					6月	7月	8月	9月	10月	計
トルブルー	4/15	6/26	10/31	72	2.0	7.6	8.7	7.7	2.9	28.8
ピリカブルー	4/15	6/26	10/31	72	1.9	8.0	10.3	10.0	5.1	35.3
フレンチハイオレット	4/15	6/28	10/31	74	1.9	12.2	10.6	11.7	3.7	40.2
チャーミーピンク	4/15	6/28	10/31	74	3.3	11.3	12.9	24.3	7.0	58.8

(注)採花終は採花を打ち切った日

表 2 切り花品質

(令和 6 年 青森農総研)

品 種	切り花長 (cm)	開花側枝 数(本)	茎 径 (mm)	花房数 (個)	切り花重 (g)	調整重 (g)
トルブルー	79	4.7	4.3	7.3	52	45
ピリカブルー	68	4.7	3.8	7.9	42	38
フレンチハイオレット	67	4.5	4.1	7.0	39	34
チャーミーピンク	60	4.2	3.2	6.2	30	27

表 3 採花本数、可販花数及び試算販売額

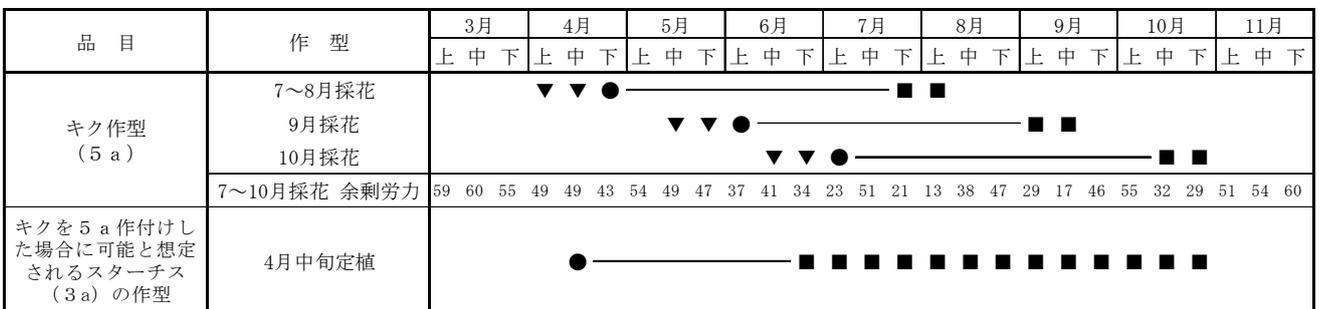
(令和 6 年 青森農総研)

品 種	1株当たり 採花数(本)	1a当たり 採花数 ^{注1} (本)	可販花率 ^{注2} (%)	1a当たり 可販花数(本)	1a当たり販売額 ^{注3} (円)	
					県内市場	東京市場
トルブルー	28.8	10,092	79	7,972	534,100	374,700
ピリカブルー	35.3	12,367	62	7,667	513,700	360,300
フレンチハイオレット	40.2	14,064	71	9,985	669,000	469,300
チャーミーピンク	58.8	20,563	49	10,076	675,000	473,500
平均	40.8	14,271	65	8,925	597,900	419,400

(注) 1 1a当たり採花数は、1株当たり採花数×1a当たり栽植株数(350株)で算出

2 可販花は、切り花長60cm以上、花房数5個以上の切り花とした。

3 1a当たり販売額は、1a当たり可販花数×市場単価(R3～5年平均、県内市場67円、東京市場47円)で算出



(注) 1 ▼: さし芽、●: 定植、■: 採花

2 余剰労力は農業従事者1人が8時間/日、8日/旬の労働時間として算定した。

図 1 キクとの労力の競合

(令和 6 年 青森農総研)

品目	作型	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
トルコギキョウ作型 (6a)	7~9月採花				●	●	●								■	■	■	■										
	8~10月採花							●	●	●									■	■	■	■	■					
	7~10月採花 余剰労力	31	36	29	15	10	13	18	18	25	44	51	45	48	50	37	26	25	16	16	20	32	47	49	60	60	60	
トルコギキョウを 6a作付けた場合 に可能と想定される スターチス(3a) の作型	4月中旬定植				●										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		

(注) 1 ●:定植、■:採花
2 余剰労力は農業従事者1人が8時間/日、8日/旬の労働時間として算定した。

図2 トルコギキョウとの労力競合 (令和6年 青森農総研)

表4 県内市場及び東京市場における取扱の推移

市場	項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
県内市場	取扱数量(万本、%)	48 (100)	48 (100)	51 (106)	54 (113)	51 (106)
	平均単価(円)	65 (100)	67 (103)	63 (97)	69 (106)	68 (105)
東京都中央 卸売市場	取扱数量(万本、%)	2,730 (100)	2,906 (106)	3,024 (111)	2,943 (108)	2,806 (103)
	平均単価(円)	42 (100)	42 (100)	43 (102)	49 (117)	48 (114)

(注) ()内は令和元年に対する各年の取扱数量及び平均単価の比率

表5 生花店のコメント

(令和6年 青森農総研)

県内生花店	スターチス・シヌアータについてのコメント
A	使用が増えている。県内物を7~10月にもっとほしい。切り花は60cm位が使いやすい。
B	和歌山県の出荷後は青森県から出荷があって良い。従来は青色が多かったが近年は中間色等の人気がある。

耕種概要

項目	内容
1 供試品種及び 苗の形態	トールブルー (7.5cmポット)、ピリカブルー (7.5cmポット)、 フレンチバイオレット (50穴プラグ)、チャーミーピンク (50穴プラグ)
2 定植日及び 栽植様式	令和6年4月15日にベッド幅60cm、通路70cm、株間・条間40cmの2条 千鳥植えで定植 (350株/a)
3 施肥量	基肥 : N : P ₂ O ₅ : K ₂ O = 1.5 : 1.5 : 1.5 kg/aを施用 追肥 : N : P ₂ O ₅ : K ₂ O = 0.2 : 0.2 : 0.2 kg/aを3回施用 (令和6年7月26日、 8月27日、9月11日)
4 マルチ	白黒ダブルマルチ
5 茎整理	定植後、早期に発生した抽台茎を剪除した。